

教員会議(1802回)・研究科委員会(511回)議事要録

日 時：平成30年5月9日(水) 13時30分～14時35分
15時00分～16時40分

場 所：人間発達文化学類大会議室

【確認事項】

「教員会議(第1801回)・研究科委員会(第510回)」の議事要録(案)について、確認された。

教員会議

【審議事項】

1. 人事委：

(1) 名誉教授の称号授与について【学類推薦】(資 - 回収)

学類長から、標記について人事課で鈴木庸裕元教員の換算後の在職年数の計算に誤りがあり、条件を満たしていたことが分かったため、人事委員会で承認したとの説明の後、資料に基づき提案があり、承認された。

(2) 再課程認定への学類の対応について(再提案)(資)

学類長から、標記について基本方針に非常勤講師を加え、資料で幾つかのケースに分けていたものを一本化し、同様に非常勤講師を加えたと資料に基づき説明提案があり、承認された。

(3) 今後の人事計画について

学類長から、来年度の人事計画についてこれまでの経緯及び今年度末の退職者の状況(6名)について説明があった後、教職大学院教員全員が今年度末で任期が終了するため、今後調整が必要となるが、今回調整が不要な採用2件(教職実践専攻特任教授A1名、県教委交流人事1名)及び昇任3件(准教授から教授へ2名、講師から准教授へ1名)について人事委員会で決定した。その他は、次回改めて追加提案するとの発言があり、承認された。

2. 教務委：

(1) 平成30年度非常勤講師計画の変更について(資)

牧田委員長から、標記について資料に基づき説明提案があり、承認された。

3. 入試委：

(1) 平成31年度人間発達文化学類入学試験日程等について(資)

佐藤(佐)委員長から、標記について資料に基づき説明提案があり、承認された。

(2) 平成31年度入学者選抜要項(案)について(資)

佐藤(佐)委員長から、標記について資料に基づき修正箇所の説明提案があった。その後、芸術・表現コース教員から「別紙」の後期日程の募集人員の表記について、分かりづらいので「芸術・表現コース」の記載位置を「スポーツ健康科学コース」の上部に変更願いたいとの意見があった。他の記載内容への影響など議論の後、意見のとおり表記を変更したいとの再提案があり、承認された。

(3) 平成31年度福島大学人文社会学群編入学および学士入学学生募集要項(案)について(資)

鍵和田委員から、標記について資料に基づき説明提案があり、承認された。

4. 将来計画検討委：

(1) 2019～2020年度入試アドミッション・ポリシー第一次案について(資)

議長から、標記について入試委提案議題と関連があるので、先議したいとの提案があり、了承された。

続いて、井實委員長から、標記について各コースで検討してもらい6月13日の教員会議で二

次案を確定すると資料に基づき説明提案があった。その後、入試要項への反映時期、新しい入試への対応を検討する機会の有無等の質問に対し委員長から今後検討するとの回答があり、各コースのアドミッション・ポリシーについて承認された。

(2) 新学類で対応する資格の追加及び変更について(資)

井實委員長から、「公認心理師となるための必要な科目」が整備可能となったので新学類で対応する資格に公認心理師を追加すること、及び保育士養成は心理学・幼児教育コースで行うことについて、資料に基づき説明提案があり、資料中「受理」を「開講が確認」に、「公認心理士」を「公認心理師」に修正し、承認された。

(3) 後任不補充となった授業科目の閉講に関する内規について

井實委員長から、標記について資料に基づき説明提案があった。教員免許に関わる科目は該当しないのかとの質問について、資格に必要な科目は例外であるとの回答があり、承認された。

【報告事項】

1. 教育研究評議会：第300回(4/17)

(審議事項)

(1) 新たな教員評価制度について(継続審議)(資-配付)

(2) 福島大学名誉教授の称号授与について(資-掲)

(3) 全学教育責任分担体制について(再提案)(資-配付)

(報告事項)

(1) 実習農場の契約完了について(資-掲)

(2) 就業規則の一部改正について(資-掲)

(3) 福島大学と須賀川市との相互協力協定の締結について(資-掲)

(4) 平成30年度入学試験実施結果について(資-掲)

(5) 経営協議会・教育研究評議会(運営会議)運営見直しについて(資-掲)

2. 運営会議：第108回(5/8)

(1) 平成30年度学長表彰について(資-掲)

(2) 学長参与の委嘱について(資-掲)

(3) 教員の学系所属について(資-掲)

(4) 創立70周年記念事業「アクティブ・スチューデント・コンテスト(仮称)」について(資-掲)

(5) 金谷川団地除染土の搬出について(資-掲)

(6) その他

科研費・外部資金の適正執行等に関する説明会について(資-掲)

行政政策学類創設30周年記念事業について(資-掲)

3. 教務委：

(1) 平成30年度人間発達文化学類特別聴講生(交換留学生)の前期科目履修について(資)

牧田委員長から、標記について資料に基づき説明提案があり、了承された。

4. 学生生活委：

(1) 東北地区大学体育大会参加学生の欠席科目の取扱いについて(資)

半沢委員長から、標記について資料に基づき説明報告があり、了承された。

5. 現代教養コース運営委：

(1) 平成29年度 授業料未納者及び除籍について

平中委員から、文化教養モデル2名の除籍について報告説明があり、了承された。

6. 将来計画検討委：

(1) コース専門科目について(資)

井實委員長から、標記について意見聴取したいのでメールで世話人に周知し質問を受け付けた

いと提案があった。教職科目関係、小学校教員カリキュラム、今後の見通し、専門プログラム数について質問があり、議長から各コースで議論を早めてほしいとの発言があり、了承された。

(2) その他科目について(資)

井實委員長から、「授業科目の持ち方について」別紙資料に基づき修正提案があり、それを踏まえ「科目担当者の決定に関する手順について」説明報告があった。その後、教員免許を取得するために開講した科目、小学校専門科目について質問があり、井實委員長から実態を聴取したうえで検討したいとの回答があり、了承された。

7. 学類長:

(1) 平成30年度福島大学と県内公私立高等学校教職希望生徒との交流会の開催について(資)

学類長から、標記について高大接続、全学再編などの背景について説明提案があり、学類として実施したいので協力願いたい、実行委員は支援室長に報告願いたいとの発言があった。入試委員から、個別学力検査等の専門委の選出に抵触しないか質問があり、学類長から配慮したうえで進めたいとの回答があり、了承された。

(2) 教員の外国出張について

学類長から、以下について学類人事委員会で承認したとの報告があり、了承された。

内田千代子 30.4.29~5.12 アメリカ 科研費

佐久間康之 30.5.11~5.16 オランダ 科研費

研究科委員会

【審議事項】

1. 入試委:

(1) 平成31年度人間発達文化研究科入学試験日程等について(資)

佐藤(佐)委員長から、標記について資料に基づき説明提案があり、承認された。

(2) 平成31年度人間発達文化研究科(修士課程・専門職学位課程)学生募集要項(案)について(資)

川田委員から、標記について資料に基づき説明提案があり、授業科目一覧で修正等反映されていない箇所について意見があり、今後確認するとの回答の後、承認された。

【報告事項】

1. 教務委:

(1) 大学院生の学類科目履修について(資)

牧田委員長から、標記について資料に基づき説明報告があり、了承された。

(2) 大学院生の研究指導教員の決定について(資)

牧田委員長から、標記について資料に基づき説明報告があり、教職実践専攻長から教職実践専攻の実務家教員が副指導教員となっているが、適正なのか確認願いたいとの発言があった。教務委員長から検討させて欲しい旨の発言の後、菅野教務課主査から、他専攻の指導を行うことは一般的に兼担として行ってきた。人間発達文化研究科の一専攻とも言えるので副指導教員になるのには支障はないとの補足説明があった。その後、実務家教員の負担及び契約について意見交換があり、今回は承認するが今後検討することで了承された。

(3) 平成30年度人間発達文化研究科特別聴講生(交換留学生)の前期科目履修について(資)

牧田委員長から、標記について資料に基づき説明報告があり、了承された。

2. 広報・情報管理委:

(1) 大学院入試広報に関する協力依頼について

千葉(桂)委員長から、標記について受験生増のため、広報を進めたいので協力願いたいとの発言があり、了承された。

3. 研究科長:

(1) 教職大学院における設置計画履行状況調査結果 (アフターケア) について

学類長から、標記について定年規程に該当する 65 歳以上の教員数が来年度当初 6 名になるので、2 名の雇用継続をしない。開講 2 年となり連携校が増加することから、連携校との関係強化のため当面の間 1 名増とするとの説明報告の後、学類の授業担当を見ながら配置を見直すとの補足説明があり、了承された。

(アナウンス)

平成 31 年度個別学力検査等の専門委員等の選出について(入試委)及び 個別学力検査等の専門委員選出・就任にあたっての注意(入試委)

標記について、各コース世話人等に依頼するので、5 月 16 日までに入試課へ提出願いたい旨の依頼があった。また、個別委員の選出にあたり、今年度大学入試を受験する家族がいる方、内外地研究を予定している方、センター試験の出題等に関わりのある方、健康上問題のある方は、5/14 までに入試課に連絡願いたいとのアナウンスがあった。

平成 31 年度以降の大学入試センター試験担当部局・大学入試共通テスト(プレテスト)について

(入試委)

標記について、11 月に実施するが入試委員及び評議員で対応するとのアナウンスがあった。

入試に関する書類の処分について(入試委)

標記について、適切に処分する必要があるため、入試課へ返却するようアナウンスがあった。

70 周年記念事業「アクティブ・スチューデント・コンテスト」について(学生生活委)

標記について、アナウンスがあった。

平成 30 年度学校ボランティア/学校教育支援実習について(資)(実習運営委)

標記について、アナウンスがあった。

COC+プレ・インターンシップ引率の協力について(資)(COC+推進室)

標記について、バスに同乗できる教員の募集依頼についてアナウンスがあった。

大学院説明会開催について(広報・情報管理委)

標記について、広く学生に周知してほしいとのアナウンスがあった。

平成 30 年度教員会議開催予定について(資)(学類長)

標記について、大学院入試日程の変更に伴い別紙資料のとおり変更したとのアナウンスがあった。

次回の教員会議は、6 月 13 日(水) 13:30 から開催することとした。